

発行所  
 青森県高等学校・障害児  
 学校教職員組合  
 青森市橋本1丁目2-25  
 教育会館017(734)7287  
 編集発行人 酒田 孝  
 購読料一部20円は組合費  
 の中に含む

**VOTE!**  
 7月10日  
 選挙に行って  
 社会を変えよう!

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>

# 多忙化解消のための客観的 で簡便な勤務時間管理を!

## 2016春闘要求書課長交渉

5月30日に春闘要求書の課長交渉が行われました。青森高教組は、4月から始まった多忙化解消のための勤務時間管理について、学校現場においては全くと言ってよいほど周知されていらない実情を県教委に示し、教職員の命と健康を守るために教育行政としての責任を果たすよう強く求めました。

No image

記録簿を全ての県立学校に配布するとともに、これまでに記録簿の提出については、長時間労働の多い時期等に行うこととしていたものを、年度を通じて実態把握に努めるよう通知したところである。

No image

**多忙化問題**  
**高教組**…管理職が職員の勤務時間を客観的に把握できるよう、タイムカードやICカード等の客観的かつ簡便な方法での勤務時間管理を速やかに全ての県立学校で行うこと。  
**県教委**…職員の勤務時間の記録については、今年の4月に、エクセルファイルの

**高教組**…しかし、ほとんどの学校で勤務時間の記録が行われていない。通知しただけでは不十分である。県教委の「取り組み工程表」には、「県教委は、学校長と連携し、職員の長時間労働の状況を適正に把握し、職員の過重労働による健康被害の防止に努める」とある。勤務時間が把握できていなければ、過重労働も健康被害も防ぎようがない。  
**県教委**…取り組み工程表を策定し、学校現場には通知してある。計画的に多忙化解消に向けて取り組むとともに、毎年度2月に調査を実施し、取り組み事例や取り組みに係る課題を把握し、整理していく。

る取り組みを進めていただきたい。  
**臨時講師の賃金**  
**高教組**…同一労働・同一賃金の考え方のもと、常勤臨時講師の給料の頭打ちを撤廃すること。当面、1の61を1の69に引き上げること。  
**県教委**…最高号給の見直しについては、県の財政事情もあり、現状では厳しい。  
**高教組**…1997年から20年も同じ所で頭打ちが行われている。正規と同じ仕事をさせるのであれば、同じ給料を。他県では頭打ちを撤廃したところもある。  
**県教委**…他県の動向も踏まえながら研究していきたい。  
**夏季休暇**  
**高教組**…夏季休暇を年間6日にすること。山形は6日、東北各県は青森を除いて全て5日である。4日の青森は東北最低である。お金がかからないのだからぜひ改善してほしい。  
**県教委**…心身のリフレッシュ等のため有効に活用できる夏季休暇についてはたいへん貴重な休暇であるので、日数延長については、県教委としても、知事部局と連携して、前向きに検討していく。

## 坂道の風

今年の肺ガン・結核健診で影が見つかってしまつた。これまでは結果通知が1枚だけで、何度か再検査と書かれたことはあつたが、今回は受診機関なども書かれた書類一式を渡された。不安にかられず受診機関へ連絡した▼これまでも体調不良などで病院に相談したことがあつた。その時にも少し不満に思つたことがある。健診結果も含め体調にも不安があり診察を受けているのに、医師は私の現在の体調や不安について一切聞くことはなく、精密検査も緊急性はないと2ヶ月先に予約し、診察を終えた▼職場の健診でも血液検査や心電図検査などと同じように、医師の問診も機械的に流れ作業のように行われている気がする▼本県は日本一の短命県。教職員の現職死亡率も上位ときている。医療関係者や医師は、不安を抱える人たちと時間をかけ真摯に向き合ってもらいたい。我々も勤務時間管理を機会に働き方を考え直さなければいけない気がする。今泉

去る6月11日土曜日、浅虫温泉「辰巳館」にて、高教組第77回定期大会が開催されました。今回の大会から、全組合員に案内を出しました。家族と一緒に参加された方、昨年新採用で初めて定期大会に参加された方など、県内各地からの参加者で夜の懇親会まで盛況でした。高教組の「組織建設3か年計画」が執行部より提案され、承認されました。今年から3年間、この計画に基づき、毎年純増をめざして全組合員で組織拡大に取り組んでいくことを大会で確認しました。参加代議員からは、計23本の発言がなされ、活発な討論が展開されました。みなさんの発言を要約し紹介します。

**組織拡大 共済動について**

○「組織建設3か年計画」の300名対話30名加入という拡大目標が具体的にどういと思う。

○普段から声をかけるように心がけている。昨年1年間で4人に入っていた。中でも、同級生が加入してくれたことが嬉しかった。長い手紙を3枚書いた。県の臨時講師の扱いには怒りを感じている。あきらめず、時間をかけて、いろいろ

ろな方と思いを共有できるとういと感じた。

○職場でこの春、1名加入した。春先、「虎の穴オーブン」のチラシをまいた。「僕、これ行ってみてもいいですか?」と聞かれた。「集団討論って、なかなか練習できないんですね。」と加入。気軽に声をかけることは大切にしたと思うた。

○職場で組合に関心のある方から「組合費7,000円は高いよね。」と言われた。

○新加入者組合費3,000円はよいのではないかと。奥さんにも言いやすい金額。

○全教共済加入者が本校では多い。秋のキャンペーンで何度もお菓子をいただいた。去年はキャンペーンがなくて残念だった。去年は奨励金の形でいただき、職場のみんなでお菓子をいただき、喜びをわかちあった。

○今年はやってほしい。きつと「全教共済っていいな」という思いが広がると思う。

○昨年、組合の説明にきてもらい、組合に加入した。初任研の間は忙しく余裕がなかったが、これから職場で声をかけてみたい。

○この3月で再任用を終えた。再任用者には冬の寒冷地手当がなく、大変だった。改善を強く要望する。

○退職して賃金は半分です。再任用者は今後どんどん増加する。(定年)退職

**職場の多忙化と多忙化 解消のための取り組み**

○職場の同僚からメールがきた。「休みがなく辛いです。ずっと休んでいません。一度でいいから文化部の顧問をしてみたいです。」長時間勤務の問題は取り組んでいかなければならない課題である。若者も疲れ切っている。

○平日の講習を毎日18時までやっている。残業手当4%はどうかと思う。過重な負担だと思う。5、6月の超過勤務時間は教頭に出すことになっている。2か月連続で80時間を超えた人は産業医の面接を受けることになる。1番多い人は130時間を超えていた。中には自己抑制している人もいる。

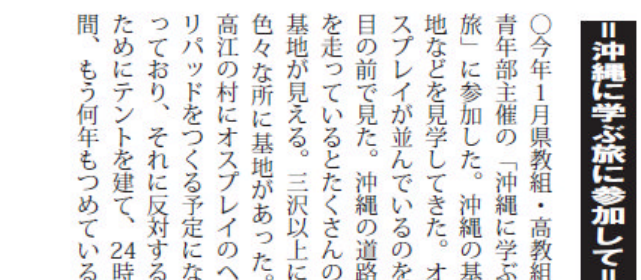
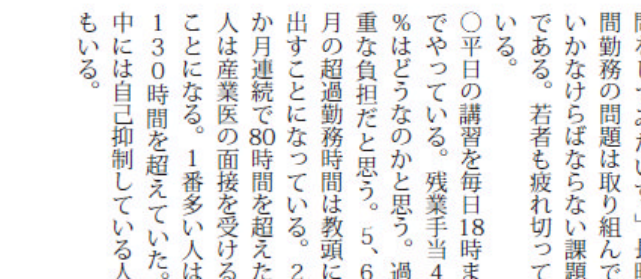
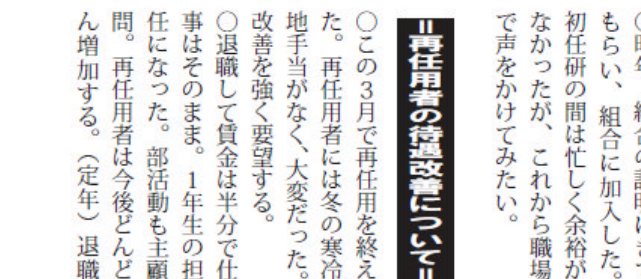
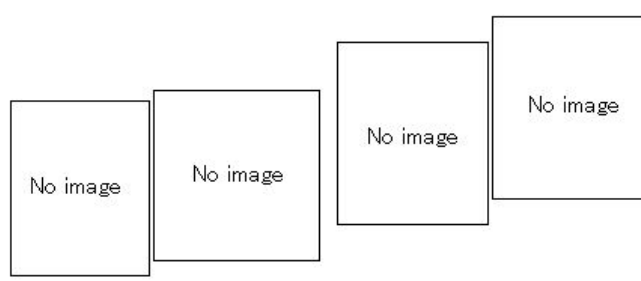
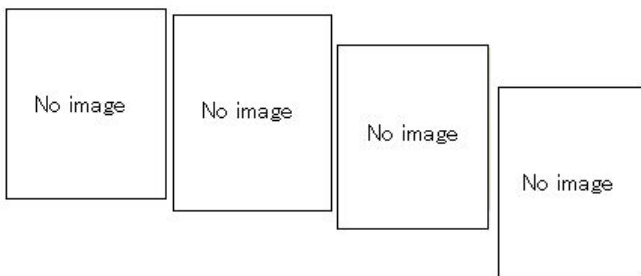
○私の学校では、校長・教頭が「どんどん振替とって休んでください」と言うが、先生方は忙しく働いていて熱心であり、振替をとってテスト監督している。

○息子は大学生で、奨学金を240万円借りた。返すときは300万円も返さなければならぬ。知り合いの弘大生が4年で700万円借金している。返せないのではないかと心配している。

**沖繩に学ぶ旅に参加して**

○今年1月県教組・高教組青年部主催の「沖繩に学ぶ旅」に参加した。沖繩の基地などを見学してきた。オスプレイが並んでいるのを目の前で見た。沖繩の道路を走っているとたくさん基地が見える。三沢以上に色々な所に基地があった。高江の村にオスプレイのヘリパッドをつくる予定になっており、それに反対するためにテントを建て、24時間、もう何年もつめてい

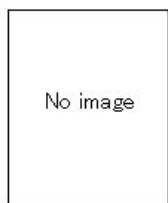
**組織の拡大を!!**  
**77回定期大会特集**



○県内の高校で高校生の政治活動の校外届けを出させているとの新聞報道があった。その学校の校長が「政治活動の制限をしているわけではない。ポランティアの安全確認のためだ。制限を加えるものではない。」

18歳選挙権、政治教育について

という。自分の生活を守るために必死になっているのだと感じた。普天間基地建设反対の取り組みを生で見せて、現地の人々が基地建设させないようがんばっている姿が印象に残った。



# 対話を中心に組 ～青森高教組第77

○18歳の高校3年生が7月には選挙に行く。子どもたちに憲法や平和を教える必要がある。「不思議のクニの憲法」という映画の上映会をする。今の政権のねらいは何かを問いかける内容である。9条の会と連携して活動していきたい。

と話したようだ。生徒が校外活動をして、警察に補導されるといったときの対応を考えるなど、学校側は後手にまわっている。県教委から(教員に対する)政治活動禁止の通知が入った。子どもたちの政治に対する声を育てていかななくてはならない。私たち教師自身が問題意識をもつことが大切だと思う。

## ① 多忙化解消に向けて 執行部見解



4月から、新人事評価制度がスタートしました。また、県教委の「多忙化解消に係る取組工程表」が示されました。この文書には、「職員の勤務状況の把握の徹底」の取組として、「教育委員会は学校長と連携し、職員の長時間勤務の状況を適正に把握し、職員の過重労働による健康被害の防止に努める。」とあり、「各学校における時間外及び休日労働の把握状況及び衛生委員会の実施状況の確認」をするとあります。

つまり、校長は必ず全職員の勤務状況を把握していなければならぬのです。そして、通知の最後には、「来年度2月に各学校にお

る業務改善にむけた取組状況等の調査を実施」するとあります。  
このことについては、5月の春闘交渉で勤務時間管理の担当課、教職員課の安田課長にも確認してあります。学校現場ではどれくらいの超過勤務があり、それを減らすためにどのように取り組んだのか。昨年1年間「多忙化解消検討委員会」で話し合われた報告書を受

Q. 高校総体で土日に生徒の引率をしたら、代休を取るようになるでしょうか。代休を取ってもどうせ休めないのです、手当をもらいたいのですが無理ですか?  
A. 可能です。あらかじめ管理職に相談してみましよう。  
教員には時間外勤務を命じることができないとされているため、県費出張など校長が旅行命令を出した(システムで処理した)場合には必ず代休を取らせなければなりません。しかし、私費による出張で、システムで処理しないものであれば特殊勤務手当をもらうことができます。また、私費の出張であっても、「旅費別途」としてシステムで処理すれば代休を取ることが可能です。

Q. 高校総体で土日に生徒の引率をしたら、代休を取るようになるでしょうか。代休を取ってもどうせ休めないのです、手当をもらいたいのですが無理ですか?  
A. 可能です。あらかじめ管理職に相談してみましよう。  
教員には時間外勤務を命じることができないとされているため、県費出張など校長が旅行命令を出した(システムで処理した)場合には必ず代休を取らせなければなりません。しかし、私費による出張で、システムで処理しないものであれば特殊勤務手当をもらうことができます。また、私費の出張であっても、「旅費別途」としてシステムで処理すれば代休を取ることが可能です。

## ② 組織建設計画について

「青森高教組組織建設3か年計画」を承認いただきました。300名対話30名拡大を目標に、全組合員で組織を大きくしていくため、組合加入の声を上げていきたいと思います。まずは、自分のまわりのみなさんに全教総合共済を勧めてみましょう。大会決定を受けて新規組合加入者の1年目の組合費は一律3,000円となります。翌年度からは毎年500円ずつあがり、規定の組合費に追いつけばその規定の組合費の額となります。

## ～勤務条件なるほど講座～ 特殊勤務手当について



人戦・高総文の4つを県費とする、というガイドラインがつくられました。それがあくまでもガイドラインなので、学校の実態に合わせて校長が判断することになります。という説明でした。当時の校長会会長は、「ガイドラインはあくまで最低基準」「可能であればどんどん振替えてかまわない」と高教組に説明しました。また、県教委もかつて「県費は代休、私費は手当」と説明していましたが、それは根拠がなかったことを認めています。2012年にPTA会費などの私費が教員の旅費や研修費などに「流用」されていることが全国的に報道され、批判をうけたことを契機に、現在は「基本的に出張は県費」という流れができつつあります。また、労働安全衛生の面からも、教員に代休を取らせないと対する批判が強まっています。このため、土日に勤務した時には代休を取るよう求められることが多くなりました。

# 世界から核兵器を無くそう

## 2016国民平和大行進



No image

今年も国民平和大行進が5月8日に北海道の礼文島を出発し、6月5日に青森市の平和公園で本土に引き継がれました。平和公園で行われた引継ぎ集会では約230名が参加し、3名の通し行進者を迎えて行われました。集会では高教組が司会を任せられ、参加者とともに県内行進のスタートを大いに盛り上げました。

にて通し行進者の木伏研一

教職員セミナーのご案内  
**講演会&トークで理解を深める**  
**普通学級に通う特別支援が必要な子どもへの対応**

講師：松本敏治 (弘前大学教育学部教授)  
 日時：8月16日 10:30 ~ 14:30  
 場所：青森県教育会館  
 参加費：500円 (昼食付)  
 申込締切：8月1日 (月)  
 申込方法：電話、FAX、E-mail でお申し込みください。

一般財団法人 青森県教育厚生会  
 〒030-0823 青森市橋本1丁目2-25  
 電話 017-721-1310 FAX017-723-2267

そして翌日の6日からは日本海コースが教育会館から出発し、9日までに鱈ヶ沢や西目屋村でも地元の参加を得て歩き、通し行進者の山田太枝さんと松永洋子さんとともに秋田県境の矢立峠で秋田県へ無事引き継がれました。

太平洋コースも8日から教育会館から出発し、11日まで地元での参加や協力を得ながら岩手県境の二戸町・金田一温泉駅前

さんとともに無事引き継がれました。それぞれの自治体で役場や支所を訪問し、様々な理由で首長には直接会えなかった自治体もありましたが、自治体署名やペナント署名などをいただきました。

また、今回も下北半島の自治体訪問を6月3日、4日にとりくみ、川内町からむつ市まで平和行進と役場訪問を無事行い、青森県内の全自治体訪問と行進をすることができました。さらに今年は全教のぼり旗が北海道・東京まで通して引き継がれる予定です。県内行進では憲法改悪を許さず、「教え子を再び戦場へ送るな」の気持ちもせ無事に引き継がれ、2016年国民平和大行進のタスキとともにそれぞれの県へ繋げることができました。

**さあ、仕上げよう!**

# 虎の穴 OPEN/IV

日時：7月16日 (土) 10:30~16:30  
 場所：青森県教育会館

① オープン模試 10:30~11:30  
 ② 解答と解説 11:40~12:30

本番さながらの模擬試験です (教職教養・一般教養)。試験後は専門のスタッフが解説をします。誰でも参加することができます。受験料 1,000円 (組合員は無料です)

③ 虎の穴IV— 集団討論演習— 13:30~16:30

午後の集団討論演習は受験学校種別に入室から退室まで、本番同様に演習します。こちらは組合員限定です。

申し込みは ☎ 017-734-7287 (青森高教組) まで



# 今の自動車保険で大丈夫ですか？



教職員と家族を守る！

## 全教自動車保険

あなたをひとりにしない。全教共済が作る助け合いの輪で、教職員と家族を守ります。

だからもしもの事故のときにも…

- どんなときでも「被害者救済・加入者保護」を貫いた事故対応!
- 加入者の希望により、全代理店・提携損保・弁護士・組合などが特別チームを編成して全面的にバックアップ
- 重大事故のときには、被害者への慰謝の念を尽くすため全教代理店が加入者へアドバイス!

(有) エミール企画 TEL 0120-74-1856